

次世代 郊外 まちづくり 通信

2014年2月発行
編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社
[連絡先] 横浜市建築局企画課
☎045-671-3628

vol.9



次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

【特集】

「住民創発プロジェクト第2回講評会」を開催し、10企画が住民創発プロジェクトに認定されました！

1月18日、たまプラーザ テラス プラーザホールにて「住民創発プロジェクト-シビックプライド・プロジェクト-第2回講評会」が開催されました。

▶第2回講評会までの経緯

昨年9月の第1回講評会で「学びの活動支援」を受けることが決定した各団体は、約4ヶ月間、実施計画づくりに取り組んできました。そしてこの日、『次世代郊外まちづくり住民創発プロジェクト』への認定を目指して、より具体的な提案を行いました。応募は17企画でした。



▶白熱したプレゼンテーションとポスターセッション

プレゼンテーションは各企画7分、質疑応答時間は3分で行いました。前回は具体的な実施計画まで至っていなかった企画も、目的やビジョン、実施計画に至るまで、より詳細で現実的な内容にまとまっていた。プレゼンテーションの後は、会場にずらりと並んだ各企画の展示を見て回るポスターセッションも行いました。提案団体も含む講評会の参加者全員が、良いと思った企画にシール投票を行いました。

▶新たに10企画が住民創発プロジェクトに認定！

全体として、非常にレベルが高かった今回の17企画。協働性、創発性、持続性などの視点と、プロジェクト期間中に具体的な成果が出せそうかという、企画の実効性の視点などから講評が行われ、10企画が住民創発プロジェクトに認定されました。

10企画が認定



次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト

「中間報告会」を開催します！

住民創発プロジェクト15企画の活動状況を共有する会を開催します。多くの方と一緒にプロジェクトを盛り上げていきたいと思ひます。ぜひご参加ください。

【日時】2014年3月15日(土)
13:00~
(12:30受付開始、申込不要)

【場所】たまプラーザ テラス
プラーザホール by iTSCOM

●新たに認定された

『次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト』の紹介

1. AOBA+ART2014 実行委員会

企画テーマ：AOBA+ART2014 展（仮）

「地域の記憶（仮）」をコンセプトとしたパブリックアート展を、地域住民の方々と協力しながら実施します。

講評 人が集まる場所をアートでつくりあげるといふ発想を評価。次世代郊外まちづくりが目指す姿を共有し、住民と協働したアートによるまちづくりを展開してほしい。



2. あおばフレンズ（LLP 青葉まちづくり活性化協議会）

企画テーマ：地域雇用創出と街の安全安心

ウォーキングと地域情報の収集を兼ねた地域密着のポスティング事業により、雇用創出、健康づくり、街の安全安心を目指します。

講評 地域住民による街の見守りとコミュニティビジネスとしてのポスティングを繋げた発想を評価。人だけではなく、街全般の点検（見守り）も一緒に行ってほしい。



3. 美しが丘 Diamonds

企画テーマ：学校を拠点とする地域住民交流の促進

美しが丘中、美しが丘小、美しが丘東小を拠点として、地域に関わる人たちが緩く連携できるプラットフォームをつくりたいと考えています。

講評 地域コミュニティの核となる学校という場所に着目した点を評価。教育の観点から地域課題を解決してほしい。



4. オールたまプラーザの健康・コミュニティづくり

企画テーマ：オールたまプラーザの健康・コミュニティづくり

多世代を対象に、みんなで健康になろうというイベントや講座を数多く企画していきたいと思います。

講評 日ごろ、地域活動に参加する機会が少ない人々を、健康づくりの視点から緩やかに巻き込む企画を評価。



5. たまプ楽食プロジェクト

企画テーマ：現代・たまプラ版『御用聞き』の実施

商店街やケアプラザ、他の団体と連携しながら、食の楽しさによって住民同士をつなぐ取組みの実施を目指します。

講評 家にひきこもりがちな高齢者に「みんなで一緒においしいものを食べる」といった日常の楽しみを提供する点を評価。



6. たまプラフレンズ

企画テーマ：住民主導型まちづくりネットワーク・たまプラ network

まちづくりに参画する人々が、それぞれの思いを共有しつつ、緩やかなネットワークをつくり、活動できるように支援していきます。

講 地域のネットワークをつくる事を主眼におき、すでに様々な
評 活動を意欲的に展開している点を評価。



7. 特定非営利活動法人森ノオト

企画テーマ：シビックメディア『たまプラびと図鑑』

たまプラザーに暮らす人の魅力を集めたコミュニティ探検ブック『たまプラびと図鑑』を、住民創発プロジェクトのグループと一緒につくります。

講 本の制作を通じて、地域の人材の掘り起しや交流等を図る点
評 を評価。



8. Loco-working 協議会たまプラプロジェクトチーム (たまロコ)

企画テーマ：たまプラで暮らし、働く - ロコワーキング -

「暮らす」と「働く」が愛着のある場所につながる新しい働き方の実現を目指し、仕組みの構築や実践のステップに移っていきます。

講 団塊世代や子育てママを中心に、「地域で働く」という企画を
評 評価。



9. 特定非営利活動法人森ノオト

企画テーマ：たまプラザーザ電力プロジェクト

再生可能エネルギーについて住民自らが学び、考え、たまプラザーらしいご当地電力をつくって展開していきます。

講 市民電力を通じて、地域循環型コミュニティの形成を目指して
評 いる点を評価。



10. たまプラ油田開発プロジェクト

企画テーマ：シビックプライドを育むコンパクトな資源循環型コミュニティを試みる

家庭や学校、商業店舗等で排出される食用廃油を回収し、軽油に精製して再利用可能なエネルギー資源にします。

講 地域住民だけでなく、商業店舗などのさまざまな人々が共通の
評 環境活動を行える点を評価。



【全体総括】

- ・全体として、学びの活動の成果が出ていて、非常にレベルが高かったと思います。
- ・このプロジェクトは、各団体がお互いに情報交換をしたり、アイデアに触発されたり、一緒にやってみる展開になることも目指していたので、学びの活動支援部門を設けて良かったと思いました。



● 住民創発プロジェクトのロゴマーク『たまプライド』ができました

若葉をイメージしたマークは、「住民創発プロジェクト」による無限大(∞)の広がりを表しています。若葉の中に civic pride の「C」と「P」の頭文字が隠れています。たまプラーザらしい若々しさあふれるイメージと、多世代が共存し、イキイキと健康で豊かな暮らしが芽吹く願いが込められています。

住民創発プロジェクトに認定された 15 団体が発行するチラシやホームページ等で使用していきます。

● 9月に認定された企画も進行中!

「光でつなげる街の輪」たまプラナイトウォーク

クリスマス間近の 12 月 14 日、アートの中で住宅街を盛り上げて来た AOBA+ART と、たまプラーザ中央商店街との初コラボ企画「たまプラナイトウォーク」が開催されました。



● 美しが丘中学校での特別授業「プレゼンテーション講座」を開講しました

美しが丘中学校では、昨年 9 月から 3 年生の社会・公民の授業の一環として「次世代郊外まちづくり学習計画」を授業に組み入れ、自分たちが地域にできることは何かを考えています。

3 月 7 日には、この半年間で学んだ成果を地域・保護者の皆さまに発表する機会として、「次世代郊外まちづくり シビックプライド ～美中プラン～」の提案【発表会】を開催します。

それに向けて、1 月 30 日には、講師の(株)石塚計画デザイン事務所の千葉晋也氏による、「プレゼンテーション講座」を実施しました。1 分プレゼンテーションや模造紙の書き方の実践を通じ、人に伝えるデザイン、人に伝える話し方を学びました。



1分プレゼンテーションをやってみよう



伝わる模造紙をデザインしよう

「次世代郊外まちづくり シビックプライド ～美中プラン～」の提案【発表会】

美しが丘中学校 3 年生 108 名がまとめたまちづくりの提案「次世代郊外まちづくり シビックプライド ～美中プラン～」を発表します。1 分プレゼンテーション、その後、ポスターセッション、パネルディスカッションを予定しています。ぜひ足をお運びください。

【日時】 2014年3月7日 (金)
11:00~
(10:30受付開始、申込不要)
【場所】 たまプラーザ テラス
プラーザホール by iTSCOM

※通信に掲載の各内容の詳細はホームページにて公開しています。

<http://jisedaikogai.jp/>



横浜市



東急電鉄